

会議顛末書

						記 録 者	関 健太		
供 覧	教 育 長	次 長	部 長	課 長	課長補佐	主 係	査 長	グループ員	
件 名		令和５年度第１回子ども読書活動推進委員会会議							
年 月 日		令和５年８月１６日（水）							
時 間		午前１０時～１１時３０分							
場 所		龍ヶ崎市役所本庁舎５階 全員協議会室							
出 席 者		【委員】 中山委員、佐子川委員、朝日出委員、 石塚委員、堀端委員、伊東委員 【図書館指定管理者】 米川館長、海老原児童総括 【事務局】 大堀教育委員会次長 〈文化・生涯学習課〉清水課長補佐、 由利係長、徳安主事、記録者 〈つばみ園〉唯根課長補佐 〈保育課〉脇島課長補佐 〈こども家庭課〉糸賀課長補佐 〈健康増進課〉小池副主幹 〈教育総務課〉松田係長 〈指導課〉千葉課長			傍 聴 人 数		０人		
事務局 （由利）		１ 開会 会議の成立（１０名の委員のうち６名が出席し、龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例第６条第２項に規定している委員定数の過半数以上の出席）							
事務局 （大堀）		２ 次長あいさつ							
		３ 副委員長の選出 朝日出委員に決定							
議長		４ 議 事 それでは議事に入ります。 次第に従いまして、「第三次龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画 令和４年度取組実績報告」について、各担当課より説明をお願いします。							

担当課	(資料に基づき説明)
議長	各課担当の皆様説明ありがとうございました。 それでは質疑に入ります。ご質問やご発言をお願いいたします。
中山委員	市役所内関係課が読書活動推進委員に携わり、図書館と一緒にやっていっているのですが、関係各課と図書館が本日の委員会とは別に話し合いの場を持つことはありますか。
中央図書館 (米川)	ブックスタート事業に関しては、ボランティアと健康増進課と中央図書館で研修会を一緒に連携してやりましょうというような話し合いをしていたのですが、現在はコロナ禍でブックスタートの読み聞かせ事業が中止となっているため、今のところない状態です。
中山委員	資料を確認したところ内容が重複しているところもあるため、図書館と関係各課の連携はどうなっているのか気になり、質問させていただきました。 現在は子ども読書推進委員会の会議を年2回行い、話し合いを行っているということでよろしいですか。
中央図書館 (米川)	はい。
中山委員	わかりました。 藤代の図書館に龍ヶ崎市図書館が視察に行き交流をしたと記載があります。私も行った経験があり、手作りの絵本を作るなど行事に力を入れており、一度行ってみたいと思っていたので、よかったと思っています。 この交流を通じて龍ヶ崎の図書館に活かしていることはありますか。
中央図書館 (米川)	令和4年度に視察にいき、手づくり絵本などの活動が本当に活発に行われている図書館であると感じました。 ボランティアを募るなどいろいろなことしなければならぬため、すぐには難しいですが、ボランティアの心構えやお話し会に対しての考え方など、藤代の図書館員にいろいろなお話を伺うことができましたので、今後も密にボランティア同士で交流をもってそれぞれに向上していけるようなことを探していきたいというような状態です。 具体的に今のところ、取り入れられたことはございません。
中山委員	ありがとうございました。
佐子川委員	中央図書館の出前講座の実施についてなのですが、小学校3年生3回や3年生4回などとなっていますが、同学年が3クラスあり、そのクラスごとに1回ずつ行ったということよろしいですか。

中央図書館 (米川)	はい。
佐子川委員	学校における読書の契機づくりの読み聞かせ活動の推進のところで、読み聞かせ回数が全体の回数で 2942 回と書いてあり、イメージがつきにくいというのが正直な感想です。 11 ページの学校図書館だよりの報告等に関しては、平均 11.1 回という書き方になっているので、そのような書き方だとイメージがつきやすいなと思っています。 しかし、学校の読み聞かせの回数を細かく報告してもらおうというのは難しいと思うので、せめて目標は子供 1 人当たり年間何回の読み聞かせを行う想定で、全体で何回になっていますと書いてあれば、わかりやすいかなという感想を持ちました。 もう 1 点が 2 ページの電子図書館の充実のところなのですが、電子図書はすごくいい面があるとは思いますが、個人的にはやはり赤ちゃんや乳幼児に関しては電子図書ではなく、紙の絵本がいいのではないかという感覚を持っています。 伊東委員から何かご意見をいただけるといいなと思っています。
石塚委員	夏期休業中の学校図書館開放についてです。 昨年度よりも日数が増えているので大変なご努力をされているのが感じられます。実際に参加人数はどのくらいあったのでしょうか、学年なども分かれば教えていただければと思います。
教育総務課 (松田)	入室者は、小学校が 964 名で、中学校が 204 名となっています。 学年ごとの集計は出しておりません。
石塚委員	こういう時は学童を利用しているお子さんが多いのでしょうか。それとも解放されている図書室を目的に来るお子さんが多いのでしょうか。
教育総務課 (松田)	大体の小中学校は、二者面談や三者面談の期間中に開放していることが多いので、保護者の方を待っている間利用している児童も多いようです。 学童でも、読書の時間を設けて図書室を利用するということも多いようです。
石塚委員	ありがとうございました。 それからもう一つ教えていただきたいのですが、図書館で購入される本と学校の先生や司書の先生が図書館の方でリクエストをかけて、学校の方に取り寄せる本の購入費用の財源は一緒なのでしょうか。それとも別なののでしょうか。

中央図書館 (米川)	中央図書館の予算はあくまでも図書館の本の予算になります。 学校支援は、学校からリクエストのあった本を図書館の本として購入し、それを貸出・返却してもらうシステムです。学校は学校で予算がついていて、学校図書館の本として買う予算が決まっていると思いますが、詳細は中央図書館では把握しておりません。
伊東委員	中央図書館の電子図書の充実ということですが、111 冊の内日本語は 104 冊英語が 9 冊ということですが、この本の対象年齢は幾つぐらいの年齢の子たちを対象としての購入だったのでしょうか。 児童図書の購入冊数が 100 とありますので、それなりに小さい年齢なのかなと思いますが、どれぐらいの年齢が対象のもの購入をしたのでしょうか。
中央図書館 (米川)	紙の図書と電子図書ではちょっと違いまして、紙の図書ですと対象が細かく分かれていますが、電子書籍の場合は一冊ごとに対象年齢は明記されています。 児童向けのもので、子供が使える児童図書を選書しています。絵本もありますしティーンズ向けの図書もありますし、111 冊の中にはいろいろな年齢が対象の電子図書が入っています。今それぞれの対象で何冊買ったのか細かいことはわからないですが、ざっくりと一般向けと児童向けというように分かれています。
伊東委員	やはり、佐子川委員からもあったように乳幼児の児童に対して電子と図書がそもそもどうなのかという、保育現場・幼稚園現場の声も大きいかと思います。 今の乳幼児はスマートフォンなどを、下手したら大人以上に触れるため、そういった中でのブルーライトが与える目や脳への刺激等も問題視されています。そういった観点から乳幼児向けものもあったのかと思いがちになったしだいです。 その他、質問ではありませんが、11 ページの本と出会う工夫ということで、リストやおたよりは保育課を通して届いており、大変ありがたいと思っております。 13 ページの団体貸出についてです。 3 件で 83 冊とありますが、これは 3 ヶ所の保育園という認識でよろしいでしょうか。 それとも一つの園で 3 回借りたということでしょうか。
中央図書館 (米川)	今手元に資料がないため、申し訳ありませんが詳細をお答えできません。
堀端委員	みんなにすすめたい 1 冊の本活用事業ということで、50 冊以上の読書が 70%、30 冊以上の読書が 25%というふうになっています。この数値ですが、これまでずっと 3 年を見てきた中で、すべて毎年度同じ数値目標設定になっています。

	昨年度の実施率はちょっとわからないのですが、毎年同じになっているのは何故か、ちょっとお聞かせ願います。
指導課 (千葉)	達成目標ということで 50 冊以上の読書が小学校 4 年生から 6 年生で 70%。30 冊以上の読書が中学校 1 年生から 3 年生で 25%を掲げています。 達成度が 100%に達成しておりませんので、継続しながら 100%に達成できるように工夫して参りたいと思っています。
堀端委員	この数値に関して、茨城県が示している数値なのか、全国的なものか教えていただければと思います。
指導課 (千葉)	この数値に関しては、あくまでも市として目標に掲げているものです。目標の見直しについては、堀端委員からありましたように今後の状況をみていっていきたいと思います。
議長	他に質問がなければ、「第三次龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画令和 4 年度取り組み実績報告」について承認したいと思いますよろしくお願いします。 (異議なし)
議長	続きまして、議案 2、「第四次龍ヶ崎子ども読書活動推進計画令和 5 年度取り組み計画案」について、各担当から、内容の説明をお願いします。
担当課	(資料に基づき説明)
議長	説明ありがとうございました。 それでは質疑に入ります。
中山委員	夏休み期間に図書館に行ってみると、大学受験の方が多いと思うのですが、学習コーナーで一生懸命勉強しているのを見かけます。資料では高校生のこれからの読書の推進もしていきたいということが載っていました。中学生は高校受験などで忙しく、また高校生になると大学受験があり、なかなか図書館には行けない状況があると思います。 そのような学生も本に親しめるように、この委員会の中で、話し合いをしてみたいいただければいいかなと思います。 20 ページの「赤ちゃんが生まれる前に」 2 版の作成を開始し、令和 6 年度から配布できるように準備しますというのがわかりづらいので、ご説明いただきたいです。

中央図書館 (米川)	「赤ちゃんが生まれる前に」というリーフレットになるのですが、赤ちゃんがまだおなかにいる段階で、妊婦さんが読める本と、出産後に赤ちゃんと一緒に読めるような本を、図書館の司書が選書をして、まとめたものになります。健康増進課にお願いして、母子健康手帳を配布するときに、一緒に配布していただいているものです。 新しい本などが出版されているため、内容を更新した第2版を考えていきたいと思います。ということなので今年の目標になっています。
中山委員	ありがとうございました。 今共働きの方とかいらっしゃるので、生まれる前のちょっとした時間に本などにおかあさんが先に触れていくことが大切と考えますので、引き続きよろしくをお願いします。
佐子川委員	2点質問したいと思います。 1点は先ほど報告の方でも聞きました、読み聞かせについての目標値についてです。 先ほどの実績報告で、学校ごとに出せるようにとはおっしゃっていただいたのですが、そもそもこの目標値というのがどういうイメージで出されている目標値なのでしょうか。例えば各クラス月1回の学級数の合計というようなイメージであるのか、どのようなところから出された目標値なのかということをお伺いしたいです。 もう1点は、直接計画に書かれていることではないのですが、16ページ最初の学校図書館の蔵書内容の充実という件に絡んだ件です。 ちょっと私が聞いた話だと、学校図書で購入費用の予算は、児童数にかける幾らというような感じということ聞いたような覚えがあるのですが、調べ学習に必要な図書などは児童数に関係なく必要になってくる部分があるかと思っています。 完全に児童数に掛ける幾らとなっているのか、必要な部分があるため基本予算があって、それぞれの学校ごとに児童数に応じたプラス部分があるのかをちょっとお伺いしたいなと思います。 調べ学習で使う図書は、普通の読みもの以上に経年劣化が激しいと思うので、頻繁に買い替えが必要なものであるかなと思うので、ちょっとそこら辺をお伺いしたいなと思いました。
教育総務課 (松田係長)	教育総務課でお答えいたします。 まず1つ目の質問にお答えします。 読み聞かせの回数ですが、学校等での平均は出していますが、極端に少ない学校もあるため、そういった学校に読み聞かせを勧めていきたいと思うところです。例年の平均値を見て、2000回という達成目標を掲げています。今後は、学校ごとの平均を出すなど、もう少し具体的に達成目標を考えていきたいと思っています。 2つ目の質問については、学校規模によって金額がすごく極端に少なくなっ

	てしまうところもあるのですが、現状では児童数により金額が決まっております。以上です。
石塚委員	すみません、ブックスタートの件についてお伺いします。 ブックスタートの本の選定はどのようにされていますか。毎年同じものなのでしょうか。何年かごとに見直しをされているのでしょうか。バリエーションがあってその中から選ばれているようになっているのでしょうか。教えてください。
中央図書館 (海老原)	ブックスタートの本の選定は、ブックスタート協会から送られてくる 30 冊ほどおすすめの本のリストから、ブックスタートのボランティアに本を選んでもらうかたちで本を選定しております。 毎年本は変えており、かぶらないようになっています。
石塚委員	ありがとうございます。 そのあと 3、4 カ月健診のときにブックスタートの案内をしているということで、図書館の利用につなげるようなご努力をされているということなのですが、目標が 95% となっていますが、今現在はどのぐらいの登録がありますか。
中央図書館 (米川)	ブックスタートは令和 4 年度報告で健康増進課が 97% の実施率ということで報告しています。その中で中央図書館のカードを作った方は 246 名で 76% となっています。 令和 5 年度の目標値である 95% はブックスタートの実施率となりますが、今年度は 3、4 カ月健診に来られないお子様に対しても図書館からブックスタートを実施していった、少しでも登録者が増えるように、できればと考えております。
堀端委員	第四次子ども読書活動推進計画の 32 ページにヤングアダルトコーナーを知っていますかという項目があります。知らない人が 90% 前後になっています。 第三次推進計画策定以前の平成 24 年からコーナーが設置されているにもかかわらず、前回の調査結果でも、90% の方が知らないという調査結果が出ています。 そうなった時に、この子ども読書活動推進計画の 3 ページの児童図書の実施の取り組みの内容や課題の中に、ヤングアダルトコーナーの認識度の低さというのが入っていませんが、入れなくていいのかなという疑問です。
中央図書館 (米川)	ヤングアダルトコーナーは、中高生の図書館の利用が少ないというのが一つ大きな課題となっています。ヤングアダルトコーナーを館内で目立つ場所に展示替えをするなど工夫をして、何とか図書の貸し出しなどが増えてきてはいるのですが、図書館に来ない生徒さんに図書館のヤングアダルトコーナーを知ってもらうのは、なかなか難しいところです。 ご指摘のありました認知度について、今後中高生に向けて電子書籍などの案

	内を各学校に配っていく予定がありますので、それに合わせてヤングアダルトコーナーの紹介もしていく必要があるなと感じております。
堀端委員	第三次計画のところに、認識度を高めるためにも、利用状況を把握する方法を検討していく必要があるのではないかと明記されています。 サービスを充実する上においても、利用状況の把握が必要だと思いますがいかがですか。
中央図書館 (米川)	今後、検討してご報告させていただきたいと思います。
堀端委員	読書活動推進計画とあるのですが、中身を見ますと、報告と課題までにとどまっているように思います。本来は、それらを課題等と踏まえて第四次推進計画として、読書推進の方策や手順、方向などについて明記すべきではないかなと思ったのですが、それについてはいかがですか。
文化・生涯学習課 (由利)	第四次計画につきましては、前回の子ども読書活動推進委員会におきまして、承認をいただいているところでございます。今回堀端委員よりいただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
堀端委員	僕の考えは、計画を書くときには基本理念があって、それに対する基本方針というものを立てて、そして実施計画を立てるような流れだと思っています。これはこれで承認されているのでいいと思いますが、本来の計画書はそういった課題等を踏まえたものにすべきではないかなと思いました。
議長	では、そういったご意見ということで承っておきます。 ありがとうございました。
伊東委員	令和5年度取り組み計画案の15ページになります。大きい(2)の電子図書についてです。 今回の計画では中高生を中心に電子図書を案内するとあります。 私どもは小学校前のお子さんを預かっているため、就学前の児童に関しての電子図書に着目してしまいますが、正直言って必要がないと思っています。 今日本人の0.9%はスマートフォン持っていないというデータが発表されておりますが、0.9%ということはおそらく子育て世代の方達はほぼ持っているということがいえると思います。今、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校もペーパーレスの時代で、紙でのお便り等もすべて廃止になっておりますので、親が通信契約をしてない携帯でもフリーWi-Fiを使って、電子の本を利用することがあると思います。 しかし、親が電子図書を利用しても、小さい子たちには必要がなく、本人の意思がもっと固まった高校生や大学生になったときに、使えばいいと思います。

	何が何でも電子がダメというわけではなく、読まないよりはいいというところにもなってくると思いますが、導入をするのなら、その辺りの年齢を検討していただきたいと思います。 それから 20 ページ。①団体貸出についてです。 今は市内には 23 ヶ所の園がありますが、先ほど質問した 1 園で 3 件にしても、3 園で 1 件ずつにしてもすごく少ない数字だと思います。 実は私の園では、この団体貸出はちょっとハードルが高いと思っています。 まず団体貸し出しの団体登録を毎年更新しないと借りられないというのが一つ大きなハードルである感じております。実際に借りるにあたって中央図書館に直接数回行かなければなりません。カードに関してはできれば、経営者や施設長が変わった際の名義変更で済ませるなど長く使えるようなカードを発行していただきたいと思います。 あとは予約から返すまでに 3 回足を運ばなければいけないので、予約は電話とか FAX やメール等でも対応していただくと、各園借りやすくなるのかなと思います。特に大型絵本に関しては中央図書館が結構冊数多くお持ちでございますので、そのあたりを検討いただきたいと思います。柔軟に対応していただければ数字も自然と上がってくるのかなと思います。 4 ヶ月先まで予約ができることは、大変ありがたくこのまま残していただきたいと思います。 それから個人的な話になってしまいますが、小学校低学年の娘が調べ学習をしようと思って、中央図書館に行った時に、机と椅子が大人向きであるため長時間座っていると辛くなってくると思いました。一つか二つでも、小学校低学年であったり小学生が利用できるような、ちょっとした机とか椅子とかがあると、図書館の利用率がさらに上がるのかなと個人的に思いました。
文化・生涯学習課 (清水)	以前から飯塚委員、伊東委員、佐子川委員からもお話いただいております幼児の電子図書について、保育課、こども家庭課、図書館を含め、紙媒体でも読めるような形を進めて参りたいと思っております。 今回の計画において電子図書館ということで中高生を対象と書いてありますが、9 月上旬に小学校の校長会がありまして、校長先生向けに小中学生に幅広く本を読んでもらいたいということで、電子図書も推奨できるように説明をする予定となっています。 今後、電子図書システムを取り入れられるように進めて参りたいと考えております。
中央図書館 (米川)	先ほどご意見いただきました団体カードの更新についてと、レファレンスによる FAX の事前予約についてです。 今すぐという対応は難しいですが、次年度以降から FAX で事前予約できるようにすれば貸出利用も増えるかと思っておりますので、検討していきたいと考えております。 小学校低学年向けの学習席については、備品購入になると思いますので文化・生涯学習課と相談して前向きに検討していきたいと思っております。

伊東委員	小学校低学年の椅子に関しては、乳幼児向けのコーナーに椅子がありますので、そこに移動すればいいのでしょうか、小学生になると小さい子と交わって勉強するより、調べ学習する本がある大人向けの学習スペースの利用をしたという思いもあるのかなと思います。 予算の問題もあると思いますので、新たに購入しなくても、今あるものを1、2個移すだけでも、若干違うのかなとも思います。意見の一つだにとらえてもらいたいなと思います。
こども家庭課 (糸賀)	先ほど中山委員からご質問いただいた「赤ちゃんが生まれる前に」の配布に関して、健康増進課から説明があった母子手帳の交付については、今年の4月からこども家庭課が窓口となっていますので、訂正をお願いできればと思います。
議長	活発なご意見、ご感想ありがとうございました。 それでは、特にご質問がないようでしたら、第四次龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画令和5年度計画案について承認したいと思いますが、よろしいでしょうか。 (異議なし) 5 その他
議長	次にその他に移ります。 事務局から連絡事項等ありませんか。
事務局	特にありません。 6 閉会
議長	他に連絡事項等がなければ、これで令和5年度第1回子ども読書活動推進委員会を閉会いたします。 慎重なご審議、ありがとうございました。 ※議長:龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例第5条第2項及び第3項により会議の議事進行について、朝日出副委員長が会議の議長を務める。

	令和5年8月16日に開催された龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会会議の内容については、上記のとおり相違ありません。 令和5年 9月 日 議事録署名人 _____ 議事録署名人 _____		
要措置事項			
情報公開	公 開		
情報公開	公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	（龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当）

※ この様式は、会議顛末書その他、報告書（人事課に提出する研修報告書は除く）、交渉記録簿、打合せ顛末書等に適宜表題を変更して使用します。